

G2 平成 23 年度活動報告

鍋倉 賢治

【1】研究目的

本グループ（以下 G2）の研究目的は、新たな大学体育カリキュラムモデルの再構築である。そのために必要な課題として、文献研究（平成 21 年度）、共通体育のスタンダードの策定と新しい「筑波体育」の教育理念の提案とそれを具現化するためのカリキュラムモデルの作成（平成 22 年度）を行ってきた。平成 23 年度の研究課題として、①平成 25 年度から実際されることが決定した Semester 制（2 期制）に対応したカリキュラム・モデルの構築、②国内

他大学の大学体育の教育理念とカリキュラムに関わる調査を行なうこととした。

【2】構成員

遠藤卓郎, 大高敏弘, 進藤正雄, 嵯峨 寿, 鍋倉賢治, 松元 剛, 谷川 聡, 福田 崇, 武田 丈太郎, 村瀬陽介, 山田永子, 吉岡利賢

【3】23 年度の活動報告

(1) 会議

表 1 会議と主なテーマ

第 1 回 (4 月 18 日)	: 平成 22 年度の反省と今年度の活動について
第 2 回 (5 月 16 日)	: Semester 制に伴うカリキュラムモデルについて
第 3 回 (5 月 23 日)	: Semester 制に伴うカリキュラムモデルについて
第 4 回 (6 月 20 日)	: 他大学の大学体育の教育理念とカリキュラムモデル調査について (方向性)
第 5 回 (7 月 25 日)	: 他大学の大学体育の教育理念とカリキュラムモデル調査について (中間報告 1)
第 6 回 (8 月 31 日)	: 他大学の大学体育の教育理念とカリキュラムモデル調査について (中間報告 2)
第 7 回 (9 月 16 日)	: 他大学の大学体育の教育理念とカリキュラムモデル調査について (まとめ)
第 8 回 (12 月 2 日)	: 日米の大学体育のカリキュラムモデルの比較について
第 9 回 (2 月 10 日)	: プロジェクト研究報告会について
第 10 回 (2 月 13 日)	: Semester 制に伴うカリキュラムモデルについて (WG)
第 11 回 (2 月 28 日)	: Semester 制に伴うカリキュラムモデルについて (WG)
第 12 回 (3 月 2 日)	: Semester 制に伴うカリキュラムモデルについて (まとめ)

(2) 各 WG の報告

上記研究課題に対して、下記2つのワーキンググループに分かれ、分担し作業を進めた（○：ワーキンググループリーダー）。

- 1) セメスター制に伴うカリキュラムモデルの構築（遠藤，松元，○谷川，武田，山田，鍋倉）

昨年度に作成した新しい教育理念のもと、現在（平成23年度）実施^{*}している「筑波体育」を、セメスター制（2期制）のもと、30時間で1単位という制度の中でどのように実施していくか、そのための方法やアイデア等を提案し、正課体育委員会へ上申した。

※通年（3学期制）のもと、45時間で1単位という制度で実施

- 2) 他大学のカリキュラムの調査（大高，進藤，嵯峨，○松元，福田，村瀬，吉岡，鍋倉）

他大学で実施している大学体育の現状を把握するために、その教育理念と用いられている教材、カリキュラムなどを大学オフィシャルホームページや、学生への配布用履修要覧などから

情報収集し、学会で報告した。具体的内容は、研究資料にて報告する。

(3) 学会発表など

平成23年度は下記の学会発表を行なった。

- 1) 第62回日本体育学会（平成23年9月25日～27日）

場所：鹿屋体育大学

題目：我が国の「大学体育」の基本理念とカリキュラム

発表：○鍋倉賢治，遠藤卓郎，大高敏弘，進藤正雄，嵯峨 寿，松元 剛，谷川 聡，福田 崇，吉岡利貢，武田丈太郎，村瀬陽介，山田永子，宮下 憲

- 2) National Association of Kinesiology and Physical Education in Higher Education (NAKPEHE：2012年1月4日～7日)

場所：カリフォルニア州サン・ディエゴ

題目：Current Status of Physical Education at Japanese Colleges and Universities

発表：○松元 剛，吉岡利貢